



校長挨拶 ～令和6年度を振り返って～

令和6年度卒業生の皆さん。御卒業おめでとうございます。卒業をテーマにした歌は本当にたくさんありますが、私はその中でも、当時はGReeeeNというグループ名で歌われた「卒業の唄～アリガトウは何度も言わせて～」という曲の歌詞がとても印象的で覚えています。「ずっとこのまま居たいけれど それじゃ駄目だと分かってるから 今このままで居たいけれど そろそろ別れの時が来た 寂くなるね だけど・・・」。卒業は新たな場所への出発ではあるものの、やはりそれ以上に別れの寂しさを感じてしまいます。それでも私たち教職員は、皆さんのさらなる飛躍を願って、笑顔で送りたいと考えています。

さて、本日が令和6年度の最後の日となります。児童生徒の皆さんにとって、令和6年度の最大の思い出は何でしょうか。様々な行事もあり、一人一人に特別に感じている思い出があると思います。特に、私は本校に赴任して5年目になりますが、ほとんどの行事や取組を、まったく制限することがなく初めて行うことができましたので、児童生徒の生き生きとした姿を様々な場面で見ることができたことは本当にうれしく感じました。ただ、私にとっては、2月14日に東京ディズニーリゾートよりディズニーアンバサダーとその仲間たちが、サプライズで本校に来ていただいたことはとても印象に残っています。何年も前に依頼したことで、直前まで実施できるかがわからなかったのですが、ウォルト・ディズニー氏の言葉にある「夢を求め続ける勇氣さえあれば、すべての夢は必ず実現できる。」を実証していただいたような思いです。一生に一度あるかわからないようなことに、八幡支援学校の児童生徒や教職員の皆さんと一緒に経験できたことは、本当に良い思い出となりました。

八幡支援学校は、今年が開校15年目でした。これまで、交流および共同学習を中心に、保護者、地域の方々や様々な施設とのつながりを深めてきました。特に同敷地内にある京都八幡高等学校南キャンパスの皆さんには感謝しきれないほどの子どもたちの笑顔をいただきました。この連携や関係は、16年目以降もぜひ継続し、本校の教育目標である「つながり・チャレンジする 子どもたち・学校」を今まで以上に深めるよう努めていきたいと思っています。

最後になりましたが、保護者の皆様をはじめ、地域や関係者、御協力をいただいた方々、令和6年度も本当にお世話になりました。皆様の御協力があったからこそ、令和6年度も無事にどうにか終了することができたと思います。感謝申し上げます。これからも、多くの場面やその時々で御理解と御支援等をお願いすることがあると思います。どうぞよろしく願いいたします。



各学部 学習のまとめの様子

生活単元学習「つながりたい」では各学年に別れて学習をしています。

6年生は、中学部進学に向けてどんな勉強をするのか知ったり、小学部との違いについて学んだりしています。また、卒業製作として学部で当番活動等に使ってもらえるように、ミシンを使って「トートバック」を作っています。初めて使うミシンに緊張しながらも、教員と一緒に約束を守って製作をすすめています。



総合的な学習の時間「やわたをきれいにしよう」

3年生は、「きらり★やさしさ発見隊」というテーマで1年間取り組んできました。3学期は「やわたをきれいにしよう」という内容に取り組みました。自分たちが暮らしている「まち」をきれいにするにはどうすれば良いかを考え、ごみ拾いをしようと決めました。実際のごみの量や内容におどろきながらも、「自分たちできれいにする」という自覚を持った姿が見られました。



3学期は、各学年のまとめに向けた取組が徐々に加速し、山場を迎えます。3年生にとっては学校生活の集大成。限られた時間をカウントダウンしながら、学びと経験をみんなで共有する様子が見られました。



2月8日(土)に京都府立京都障害者高等技術専門校で開催されたアビリンピック(オフィスアシスタント)への挑戦と、13日(木)の本校を会場とした京しごと技能検定/介護では、緊張感に包まれながらも、これまでつけてきた力と練習の成果を出し切ることができました。

何かお気づきのことがありましたら、学校まで御連絡ください

TEL:075-982-7321 MAIL:yawata-s@kyoto-be.ne.jp

学校だよりのカラー版は学校ホームページに記載しております。
<http://www.kyoto-be.ne.jp/yawata-s/cms/>

